

『家族』について

- Q1. この20年間で変わった日本の家族像
Q2. 家族とは？

【この20年間で変わった日本の家族像】 ●:男性 ○:女性 ()内は年齢

- 核家族化する事で、人間関係の希薄化。つながりが弱い (30)
- 典型的な家族像は姿を消し、様々なタイプに多様化して、理想も変化が激しくなった (28)
- 団らんがなくなった…希薄になった…。家族でもプライベートでも個人主義って、どうかと思う (34)
- サザエさん→クレヨンしんちゃん (32)
- 様々なものが「共有」から「個別」に。電話、TV、PC等 (27)
- 家族のつながりが減っていると思う(絆の深さが足りない) (30)
- 他人が集まって住んでいるような印象 (32)
- 家族の一人一人が、それぞれで活躍するようになった。その代わり、家族みんなで一緒に行動する事が少なくなった (39)
- いわゆる"大黒柱"といった、家族の中心人物がいなくなったのでは。家族である前に、個々が重視されている気がする (40)
- "親しき中にも礼儀あり"が欠けてきているような気がする (41)
- 夕食時に家族が揃うという事がなくなってしまったと感じている。家族で顔を合わすのも難しくなった (45)
- 核家族から、「個家族」が進んだと思う。私の年代で独身一人暮らしがゴロゴロいる (45)
- 生活様式の様変わりで、家族の団らんが薄れた(核家族、TV・携帯電話の普及、仕事する親の遅い帰宅、子供の塾通い) (48)
- 父親が忙しくなって、母子家庭化している (51)
- 塊であったものが、バラバラになりつつあると思う (53)
- 父親の威厳がなくなった (57)
- 皆バラバラで、族ではない (54)
- 親と子供の関係が、単なる年齢の上下関係に近くなってきた (53)

- 核家族が進み、親・子・孫の良き関わりが薄れつつある。躰や社会のルールを教える機会が少なくなった（64）
- 核家族化が一段と進み、高齢者世帯、一人暮らし高齢者世帯が急激に増加した（73）
- 核家族と言われて久しいが、今は個々家族の感が強い。一人で住んでいる人が多い。老若問わず（64）
- 近所付き合いをしない隔離された家族（21）
- 核家族の更に細分化（例えば、父→単身赴任、息子→大学へ行く為に一人暮らし、母→家に残る）（18）
- 親子関係というよりは、友達家族になってきたように思う（35）
- 機能不全の家族の方が多くなってしまったという印象がある。親が本当の意味で、子供の為に親としての役割を果たす事がなくなった（43）
- 家族というより、個人個人が一緒に住んでいるだけの形になってしまった気がする（27）
- 男の人が家の事をして、家族みんなが協力し合う家族像（28）
- 家族関係・コミュニケーションの希薄、モンスターペアレント、過保護な親の増加（36）
- 20年前は2人兄弟が多かったが、最近では3人以上の家族が増えている気がする。お友達でも、とても多い（33）
- 家族で食事、家族で旅行、家族で…というのが減った（39）
- 子供の為なら命を差し出してでも！！という思いが低下し、子供は親の人生のオプションになった（38）
- 世間の中にあるという意識が薄れ、各家族の考え方に軸を置いた子育てがされるようになった（34）
- 家は寝るだけの場所になってしまって、家族で過ごす時間が減ってしまったように思う。同居人になってしまったみたい（45）
- 父母中心よりも、子供中心に家族が成り立っていると思う。子供にとっての一番を、家族の一番にしている（47）
- 「縦」のつながりが希薄になり、「個」を重視するようになった（子供達に「親戚」という意識がなくなった）（50）
- 核家族化が進み、家族間の干渉が密になった。親離れ・子離れができなかったり、家族間での事件やトラブルが多くなった（53）
- 友達親子関係を良しとして、親と子の位置が逆転して、躰の何たるかが分からなくなってきているように思う（59）
- 「一家」という考え方よりは、一人一人個人の同居的な感じになってきたと思う（60）
- 一般的に大家族から核家族へ。おじいちゃん・おばあちゃんの温もりを知らない子が増え、お父さんも影が薄くなったと思う（58）
- 父親で、子育てへ参加する人が増えてきたように思います（52）
- 家族の数が少なくなっていき、またお父さんがママになり、よく家庭の事を手伝うようになった（62）
- 族ではなく個になり、家族は祝儀・不祝儀・イベントの時に集まる親しい仲間となってしまった…（68）
- 父権・母権がなくなり、恐い存在の人のいない家族となってしまう、タガの外れた家族が多くなった（65）
- 核家族が多くなり、おじいさん・おばあさんが寂しい生活をしている方が多くなった（64）

【家族とは？】 ●:男性 ○:女性 ()内は年齢

- 最終的なよりどころ。良き相談相手 (22)
- 空気みたいなもの (36)
- 自分が自然体でいられる場所 (28)
- 自分を最も理解してくれる。ありがたく、面倒でもある存在 (27)
- 守るべきものであり、守られるべきものである (30)
- かけがえのない存在 (35)
- 一番大切なもの (37)
- 大切に、かけがえのないもの。期待しすぎてもいけないもの (39)
- 互いに守るべき一番小さな社会 (36)
- 心安らぐ、安息の場 (40)
- 宝物 (42)
- 帰る場所 (49)
- 生活の拠点、足場 (51)
- 幸せの原点。源 (53)
- 自分を犠牲にしても守るべき大切なもの (56)
- 一番心休まる場所 (59)
- 自分が守るべき存在。時に悩みの種となる事もあるが、心のよりどころである (55)
- 空気のような存在。あって当たり前 (55)
- 生きる支え、頑張りの元 (65)
- お互いを尊重し、気にかけて、慰め、笑い合う、愛し合う、安息のできる場所 (66)
- 自分の人生を生きていく為の唯一の目的であり、よりどころである (64)

- 自分が最も安らげる存在 (19)
- 帰る場所(どこにいても、たとえ結婚しても) (29)
- よりどころ、母港 (35)
- かけがえのない大切な宝物 (28)
- 仕事の原動力です (28)
- 素の自分で接する事ができる相手 (30)
- 温かいもの。優しいもの。頑張れる心の支え (32)

- 最後に帰れる場所であり、最強の応援団（39）
- かけがえのない、一番大切なもの（38）
- 生きる理由と生きる力をくれるもの（34）
- 世の中で一番ホッとできる人達（47）
- 面倒くさい。でも、一人だと寂しいのかな（46）
- いつもは空気のようにでも、本当は一番の心のよりどころ（47）
- 気を遣わないでいられる。自分らしくできる（50）
- 困った時に助け合える、ワガママを言える運命共同体（59）
- 一番大切なもの。人間を作り出す場所。心の底から話し合える人間関係の場（59）
- 見返りのいらぬ愛を注ぎ、安らぎの場所（58）
- 夫と共に育ててきた大切なもので、自分が一番自分らしくいられるところ（56）
- 生活の基本です。私の支えです（54）
- 最大の理解者（良くも悪くも、分かってくれる）（61）
- ホットできるところで、なくてはならない大切なもの（63）
- どんなに揉めても、最終的には分かり合えるし、信頼できる間柄だと思う（68）
- 守り合うもの、労わり合うもの（71）

生活総研では、独自の調査パネル「生活発見パートナーズ」を対象に、様々なテーマについて生活者の言いたいことや思っていることを調査しています。本資料は、その結果のトピックスをお伝えするものです。

【調査概要】

調査対象者：生活総研パネル「生活発見パートナーズ」18歳～75歳男女

サンプル数：413人

調査地域：首都圏

調査方法：郵送法

※その月の回収状況によって、有効回収数、年齢分布は異なります。